

自己評価結果公表シート（平成31年度）

学校法人育保学園 くまのだ保育園

1. 本園の教育・保育理念

「一人ひとり」の個性が輝く毎日を送る事ができるような環境を整え、様々な経験と遊びを通じて健全な心身の発達を助長し、情操豊かな子どもの育成を目指す。

2. 本園の教育・保育のねらい

- ・自ら考え、行動する力を育てる。
- ・人を思いやる気持ちを育てる。
- ・集団生活を通して、規範意識を持つ力を育てる。
- ・新しいものを生みだそうとする力を育てる。

3. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・保育者の資質の向上
- ・運動遊びの充実
- ・危機管理の強化

4. 評価項目の達成及び、取り組み状況

評価項目	取り組み状況・結果
○保育者の資質の向上 ・働き方の見直し ・研修への参加	・係やクラス、学年の仕事を分担する事で、効率よく仕事をこなした。又、年度末の研修や新年度準備の時期を検討し、無理のない勤務体制で行えた。 ・外部の研修に参加し、職員に研修内容を報告したり、会議で話し合う場を設けたりした。
○運動遊びの充実 ・環境・道具の見直し ・運動遊びを取り入れる	・マットや室内用フープ等、体育用具を少しずつ揃えていき、ホールや保育室で様々な運動遊びを取り入れられるようにした。 ・サーキット遊びでは、登る、くぐる、ジャンプする、ぶら下がる等、体の様々な動きを取り入れる事によって、体幹やバランス感覚が養われ腕や足の筋力が付いた。
○危機管理の強化 ・園外でのルール見直の見直し ・自然災害等を想定した避難訓練	・園外を歩く際、歩道の歩き方や横断歩道の渡り方等、職員でルールを再確認し、危機管理の意識を高めて園外へ行く事ができた。 ・毎月の避難訓練では、地震、火災、水害、不審者等の訓練を行い、職員で反省を出しながら、次に活かせるようにしてきた。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
・感染症対策の強化 ・保育・行事の見直し ・生物、植物への探究	・日々の清掃に加え、保育室や玩具の消毒もこまめに行い、安全で安心できる保育環境を整える。 ・感染症対策を取り入れながら、子ども育ちを大切に、日々の保育や行事について職員で話し合い、意思統一をしていく。 ・身近な生き物を飼育したり、畑やプランターで植物を育てたりして、生育していく過程を見ながら興味や探究心を育てる。